

節目があるから成長できる

船引小学校長 安生昌弘

今日は、前期と言って今年度1年間の前半分が終わる日です。そして2日間の休みを挟んで、あと半分が月曜日から始まるので、今年は終業式と始業式を一緒に行うことにしました。今日や来週月曜日のような一つの事が終わって、何かが始まる時のことを“節目”と言います。ある植物にも節目と呼ばれる部分があるので、今日は、その話をします。どんな植物でしょうね。



皆さんは、これが何という植物か、よく知っていますね。そうです。竹です。では、竹の所々にある区切りのような部分は何て言うのでしょうか。節あるいは節目と言います。学校の周りにはたくさんの木がありますが、ヒマラヤスギや桜などの木は、竹のように中が空洞になっていませんし、その途中にこんな節目はありません。どうして

竹には節目があるのでしょうか。不思議なので調べてみました。

竹の節目の数はタケノコの時からだいたい決まっています。孟宗竹という太く背が高くなる竹では大体60個位あるそうです。この孟宗竹は、何と1日に80cm～100cmと言いますから1年生の背の高さ位も伸びることがあり、2ヶ月ぐらいの間に20mと言いますから6階建てのビルと同じ位までの高さに成長します。凄い速さですね。どうしてそんなに伸びるかということ、60個位の節目全部に成長点といって根から吸い上げた養分を伸びる力に変える所があるからなのです。竹以外の植物は、先の方の1箇所だけに成長点がありますが、竹はどの節目にも成長点があり、60カ所の節目が一気にどんどん成長するので、すくすく伸びるんです。竹は、節目があることによってぐんぐん成長する訳です。

竹の節目には、成長の他にも大事な働きがあります。竹の中は写真のように空洞です。ですから、とても弱くて、強い風が吹いたり、雪が積もったりすると、すぐに折れてしまいそうですね。ところが、竹は滅多に折れません。それは、節目がたくさんあることで、しなやかになり強くなっているからです。竹は、節目によって強くもなっているのです。



竹の節目は、竹を成長させたり強く丈夫にしたりするので、竹にとって、とても大事なんですね。

今日のように前期と後期が、かわる日も節目になります。今までできなかったことやうまくいかなかったことが、たくさんある人にとっては、この節目は自分を大きく成長させる、また、強くて丈夫な自分にかえるチャンスです。あまり失敗をしないで頑張ってきた人も、自分をさらに高めるチャンスです。節目は、新しい自分をつくり出すチャンスなのです。自分の目標をもう一度見直して、しっかり目標を立てましょう。そして、ポケモンのように新しい自分に進化していきましょう。新しく進化した仲間が集まると、クラスも新しく進化して、もっともっと素敵なクラスになっていくと思います。船引小 686名全員が節目のチャンスを活かす事を期待しています。